

ルームエアコン‘霧ヶ峰ZW’シリーズ

村上泰隆*
日高 彰*

Room Air Conditioner “ Kirigamine ZW ” Series

Yasutaka Murakami, Akira Hidaka

要 旨

ルームエアコンは家庭内で使用される電力量のうち約25%を占め、最も電力消費量の多い機器となった。こうした中、京都議定書で定められた二酸化炭素排出量を2010年までに6%削減するという目標を達成するためにも、エアコンの電力消費量を削減することが求められている。

エアコンの使用方法により省エネルギー性に大きく影響を及ぼすものとして、リモコンの設定温度がある。政府は冷房時の設定温度を28 以上、暖房時は20 以下を推奨しているが、エアコン運転時の快適性が悪化するため、暖房では9%、冷房では44%しか実施されていないことが明らかとなった。

そこで、快適性を左右する温熱環境要素の中で最も重要

な輻射(ふくしゃ)熱を検知するセンサ“Wムーブアイ”を搭載した新型ルームエアコン“霧ヶ峰ZW”シリーズを開発した。Wムーブアイによって、省エネルギー設定温度にしても快適性を保つことが可能となり、従来エアコンに対して約30%の省エネルギー化を実現することができた。

また霧ヶ峰は、リサイクル性の向上、環境配慮設計にも力を入れており、取り外し、分別が容易な構造を設計段階から行って再商品化率の向上を図り、また、制御基板に使用するはんだの鉛フリー化を実現した環境配慮設計を行っている。

霧ヶ峰は、常に人と環境に優しいエアコンを目指し、今後も更なる省エネルギー、資源の有効利用を促進していく。



Wムーブアイを搭載した“霧ヶ峰MSZ-ZW40TS”

赤外線センサWムーブアイを搭載し快適性と省エネルギー性の向上を両立させた霧ヶ峰MSZ-ZW40TSを示す。